

社会福祉法人宮城厚生福祉会 高齢者福祉施設「宮城野の里」

みぎの風

green wind

〒983-0021 仙台市宮城野区田子字富里223 TEL.022-388-8777 FAX.022-388-8778
<http://www12.ocn.ne.jp/~miyagino/>

第25号 2010.1



よりよい介護・保育の 実現を目指して

十一月十五日、介護・保育・障害者福祉制度の改善を求めてフォーラス前宣伝を行いました。

全体で八五名の参加、介護署名二八五筆、保育署名三一二筆、自立支援法廃止署名四八筆が集まりました。

初めて参加した人が多く、「なかなか署名を書いてもらうことが出来なかった。もっとみんな福祉に目を向けてほしい。」
「保育の人が頑張っていてすごかった。こういう活動は大事だと思った。自分に直結してくると思ってるが、通り過ぎてしまう人がほとんどで残念。とてもいい活動なのだから、分かりやすいように出来ないか、今後工夫していきたい。」
「一人では出来ない活動だから、今後もみんなを誘って参加したい。」
「宣伝は何度もやっているが、こんなに大人数での宣伝は初めてで、すごいと思った。」などの感想が出されました。

総選挙で政権が変わり、私たちの要求を実現するために、声を出すことが重要な時期です。みんなが安心して暮らせる福祉制度の実現を目指し、今後もこうした取り組みを広げていきたいと思っています。

年頭にあたって

ささやかな声を実現できる年に

—高齢者の住む安心安全な終の棲家がほしい—

新年早々、特養待機者数・全国で四二万人という記事が出ていました。「宮城野の里」には、高齢になりお食事が自分で作れない程度の方々の入居施設であるケアハウスがあります。入居できるという状態ではありません。現在ケアハウス「宮城野の里」には、三八名の方が入所待ちをしておられます。その中には将来のために申し込んでおくという方もおられますが、大半は早く入りたいという方々です。最近の傾向として、要介護の認定を受けておられる方々の申し込みも多く、特養ホームの不足がこんな形で現れているのだと思っています。

その中にこんな方がおられました。てんぶら鍋に火が入り、火事になってしまい、身一つで燃えるお家から逃げ出せたものの、住んでいたお家を失くしてしまわれました。一人住まいはできないとの判断から、高齢者の住むお家を探しましたが、何とか入れたのは、八畳間に四人の高齢者が寝泊りするところでした。たった一人の妹さんは、遠方から飛行機を乗り継いで時々様子を見に来てくれますが、身体の弱いお姉さんを気遣い、早くケアハウスに入れてほしいと懇願されました。こんな現状を見るにつけ、特養を含めた高齢者の施設群をもっとつくって欲しい、弱くなられた高齢者の方々が安心して住むことのできるお家もつとあっていいのだと考えています。お金のある高齢者の方は、有料老人ホームに入居できますが、大半の高齢者はそうはいかない現状なのです。

新しい年が明け、今年もみんな

で、ささやかな声をあげ、山積みの問題を少しでもよい方向に向けていきたいと心を新たにしています。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(施設長 小野ともみ)

民謡を歌って長生きを!

「NPO法人いきいき倶楽部」の

民謡教室が200回となりました

私たちが宮城野の里で、民謡教室を開催しまして平成二十一年十一月十三日で二〇〇回になりました。ボランティア担当の方から依頼があり、「利用者様に生伴奏で民謡を歌ってもらいたい」ということで、引き受けました。

月3回、午後2時から3時までの一時間行っています。参加する方が少く、民謡を歌う側(講師2名、尺八、三味線の5名)が多い日もありました。教室が満杯になり身動きが取れない日もありました。

皆さんの良く知っている唄、歌いたい唄を中心にしてあります。一時間の前半二曲、ストレッチ体操とお茶の時間を挟んで後半講師の唄と二曲歌います。テンポよくお囃子をいれてくれる方、



踊りだす方もあり、民謡大好きの方々が、すばらしい「民謡教室」です。民謡はお腹の底から声を出さねばなりませんので、健康にもいいのです。これから三〇〇回に向けて、私たちも頑張りたいたいと思います。

手記 妻が病をえて

自然に当たり前前に生きることを願って

「宮城野の里」が建設されるという案内状をいただいた時から、介護の専門家からお話を伺いその都度助け舟を出していただき、ありがたく思っております。私たちは、大正生まれの夫婦の老々介護で、妻は「宮城野の里」にお世話になっています。妻の病の流れを思い返してみると、現在の「要介護3」にいたるまでには少しずつ変化がありました。

私達は、定年後夫婦二人の夢のマイカー旅行を計画どおり始めました。行程づくりに数日かけたものですが、道順に不安を感じたときには地元の人に聞くのが一番と、その役割は妻でした。しかし妻が、だんだんその役割が果たせなくなりました。それでも「見たいところはたくさんあるものだね。」といいながら旅を続けました。そのうち旅館に入ってから、妻が「トイレに一人で行けない。」というので二人で行くようになりました。特に違和感もなく、「年のせいかな。」「怖いからかな。」なんて対話を楽しんでいました。そんなことが続くようになって、娘から妻の精神科受診をすすめられました。

妻は、次第にうろうろと歩き始めるといったことが多くなり始めました。友人と定例の温泉旅行に行っていたのですが、ある時から「父ちゃんもいくなら。」と言うようになり、同級会へも「父ちゃんど。」と言うのです。まさに病気になるのだと、暗然と妻を見つめました。

そのうちに話に聞いていた「徘徊」が、自分のことになりました。ある日昼食後、ちょっとした隙に妻の姿が見えなくなり、畠や川辺を探し友人に問い合わせたりし、分担し捜索しました。夕方4時ごろ電話が入り、小田原1丁目の商店からでした。娘が迎えに行った時、お茶をご馳走になっており何事もなか

ったかのような笑顔でしたが、急に涙を流し、「どうもご苦労さん。悪かったね。」といったそうです。それからは、ショートステイでの日数を増やしたり、衣類に名前をつけたり、注意できることはしました。それでも無断で外に出て行くことが1年間に数回あり、そのたびに見つけていただきました。家庭内では洗面所やトイレからタオルやちり紙等を、全部台所に持ってくるようになりました。「アッ。」「アラッ。」とかのびっくりした声は、本人の「びっくり」と「反発」になることも知りました。それは「自分がほしかったのだ。」ということなのだということを、知りました。

「宮城野の里」で、妻は大変お世話になっています。家族懇談会等々、大変勉強になっています。私も、心をこめて介護をしている職員の方々の背中を見ながら、見よう見まねで妻をやわらかく受け入れています。今後も介護職員の皆様の知恵と助けを借りながら、妻を見つめていきたいものです。介護を受けている妻をはじめとする方々、介護をされているご家族の皆様、介護職員の皆様、みんなが暖かい気持ちで肩の力をぬいて暮らしていけることを願ってやみません。

(T・H)



デイサービス センターの忘年会

デイサービスでは12月17日～23日、忘年会の行事を行いました。日頃の感謝の気持ちを込めて、カラオケ大会、夢☆宝くじ大会、ボランティアの方による民謡ショーやバンド演奏など、様々な催し物を楽しんでいただきました。



クリスタルサウンド様の、素晴らしい演奏



素晴らしい歌声に、みなさん拍手喝采



司会は昨年の干支、「牛」です



私の自慢のノド、ご披露します

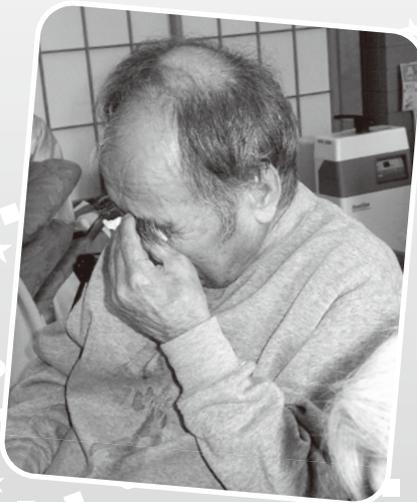


私の宝くじ、当たるかしら？



うまいうまい、いい演奏だなあ

ショートステイの忘年会



年の瀬を迎え寒さも一段と厳しさを増してきた12月20日、ショートステイで忘年会が行われました。まずは、日本舞踊を楽しんでいただき、中には可愛らしい少女の舞いに涙を浮かべる方もいらっしゃいました。

その後の魚釣りゲームでは、景品が配られお互い見せ合いっこする姿も見られ、楽しい一日を過ごしていただけたようです。



宮城野健康福祉友の会

うたごえ喫茶・田園



二〇〇八年十二月に始まった「うたごえ喫茶・田園」も、はや一年経過しました。月一回、第四木曜日に、宮城野の里のロビーで開いています。コーヒーや紅茶を飲みながら、もちろん「歌と笑顔だけの参加」も大歓迎、楽しく和やかに歌いお話しします。一時間はあつという間です。友の会の会員さん、ケアハウスの方、デイサービスの利用者さんがリハビリの途中に立ち寄り下さったりもします。百三歳の渡辺多恵子さんも時々いらつしゃいます。スタッフを合わせて毎回十人前後集まっています。

誰でもうたえるような童謡・唱歌をきっかけにして、皆さんからのリクエストをいただきます。リクエストが多いのは、「アザミの歌」「知床旅情」「誰か故郷を想わざる」「里の秋」「北国の春」などでしょうか。スタッフおすすめめの「花のメルヘン」もよく歌われています。最近では「多湖の舟歌」を毎回歌うようにしています。

うたの合間のおしゃべりもまた楽し。どうぞ皆さん、一度お寄りください。

福田町地域包括支援センターからのお知らせ

地域の中で介護予防の取り組みが進んでいます!!

福田町地域包括支援センターでは、地域の皆様にご協力をいただきながら介護予防の取り組みに力を入れています。今年度も新たな運動の自主サークルが立ち上がり、担当地区の中に五ヶ所できました。各サークル毎月一〜二回、軽い体操やレクリエーションを地域の方との交流を交えながら行っています。

●田子・福田町ふれあいサークル

会場：田子2丁目集会所
日時：第1、第3月曜日

13時30分〜15時

●田子・福田町ふれあいサークル

（田子グリーンパーク教室）
会場：田子グリーンパーク集会所
日時：第1、第3木曜日

10時〜11時30分

●いきいきおたのしみ会

会場：鶴巻コミュニティセンター
日時：第3火曜日

10時〜11時30分

●岡田いきいきクラブ

会場：堀切集会所
日時：第2水曜日

10時〜11時30分

●下岡田元気クラブ

会場：下岡田公会堂
日時：第1月曜日

10時〜11時30分

ぜひみなさんもお近くの会場にお気軽にお越し下さい。地域の方々と一緒に介護予防の取り組みをしてみよう!!詳しくは福田町地域包括支援センターへお問い合わせ下さい。TEL 388-6101

編集後記

新しい年を迎え、いかががお過ごしでしょうか。昨年の漢字は「新」。新政権、イチローの新記録、新型インフルエンザなどのニュースがありました。介護分野の「旧」から「新」へをつくりだすのは、私達だと思っております。ささやかな思いを、大きな力にしていく年にしたいものです。

編集委員

小野ともみ 大内誠 佐藤翔悟
三戸部裕之 阿部徳也 小関真美